



つなげる
繋

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

澄みきった秋の青空が広がり、体を通る風も爽やかに感じる季節になりました。秋といえば、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋などといわれるように、何をするにも最適な季節です。皆さんは、どんな秋を満喫しますか。

ところで、先月上旬、朝霞ジョギングクラブ主催の24時間リレーマラソンに参加しました。これは、陸上競技場の周回ジョギングコースを、^{たすき}襷をつなぎながら24時間走り続けるもので、私が市長になってから毎年参加しています。日課としているジョギングでは、ペースを保って走るように心がけていますが、リレーマラソンではたくさんの声援を受けながら走ったせいか、つついオーバーペースになってしまい、最後はばててしまいましたが、自分に与えられた時間を無事に走り終えることができ、少しは貢献できたかなと思っています。

さて、皆さんは、健康寿命という言葉をご存知でしょうか。これは、介護などを必要とせずに、自立した生活を送ることが出来る寿命のことで、今年6月に厚生労働省が発表した2010年の健康寿命は、男性が70.42歳、女性が73.62歳でした。この健康寿命と平均寿命の差を小さくすることにより、いつまでも元気に生活していただくことができます。朝霞市の高齢化率は、今のところ、国や埼玉県平均よりも低いですが、国や県と同様、今後は急速に高くなっていくと思います。市では、従来から健康づくりや介護予防の取り組みを行ってきましたが、今年度から新たに、県と共同で「彩夏ちゃん健康長寿プロジェクト推進事業」をスタートさせました。この事業は、健康づくり、生きがい、社会参画をキーワードに、運動習慣を作って脱メタボを目指す「わくわくどーむ DE(で)健康づくり事業」、団地のあらゆる世代の人々が、いきいきと生活できることを目指し、介護予防メニューを充実させて団地での健康長寿意識の向上を図る「団地まるごといきいき事業」、経験や知識が豊かなシニア男性が、子育て支援活動に取り組む「ぐらんば育児支援事業」を実施していきます。

私は、この取り組みを、市民の皆さんが、元気に生き生きと暮らせるまちづくりにつなげていきたいと思っています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。では、また。

朝霞市は 男女平等を進めています

男女の間で考え方や意見が違ふとき、そこにはそれぞれの「言い分」があることも。お互いが相手の目線で考えることができればよりよい関係が築けるのでは…そんな思いをこめて、このコラムではさまざまなライフステージでの男女の言い分を、男女平等推進事業企画・運営協力員が身近にいる男女にインタビューして紹介します。

今回のテーマは、「子育て観からみる**母親**の言い分」です。

前回、インタビューした父親たちの妻に同じ質問をしました。

まずは「主観的に見て、子育てとしてやるべきと考えていることの何%ぐらいに関わっていると感じていますか？また、それは具体的にどんなことですか？」

20代後半～30代では、80%という回答が最も多く、仕事をしていない母親の場合、100%という人もいました。この年代では、父親も「子育ては2人で協力する」という感覚を持っている人が多いものの、まだ子どもが小さいために母親によるところが多いようです。40代以上でも同じように80%と

～一緒に考えていこうよ⑥～

という回答が多くありました。こちらは父親が職場でより責任ある立場になり仕事を優先せざるを得ないという状況があるようです。また、子どもが成長すると子育ての一部が子どもの世話から家族の世話へと変化し、主に家事を母親が担っている家庭では「子育ては妻にまかせている」ということになるようです。

続いて「子育てにおいて、パートナーに望むことは？」

「子どもとずっと遊んでほしい」「言うだけでなく、自分から実際に動いてほしい」など、より直接的に関わってほしいと母親が考えている一方で、(特に小中学生の)父親からは「普段子どもの世話をしていないから口出しはできない」などの声もあり、日ごろの直接的な関わりよりも経済面や困ったときに相談にのるなどを役割だと考えているようです。

インタビューをしてみて、子どものことについて、20代～30代では父母でよく話しているのに対し、40代～50代ではあまり話していないという印象を受けました。子どもと直接的に関わる機会が多い母親が、父親に子どもの様子を伝え子どものことを一緒に話すことで、父親も子どもに関わりやすくなるのかもしれない。

(次回のテーマは

「介護観からみる**息子・婿**の言い分」です。)

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

☎/人権庶務課 ☎2255 ☎463-2697

ひとの推移

人口	13万1,589人 (- 29人)	世帯数	5万9,065世帯
男	6万7,059人 (- 42人)		(-637世帯)
女	6万4,530人 (+ 13人)	平成24年9月1日現在	()内は前月比